

順天堂医院ニュース 2016 NO.56

新任教授紹介

麻酔科・ペインクリニック

麻酔科医として 25 年間、細々とですが開胸手術の麻酔の研究や教育などに従事してきたことがご縁となり、2016 年 4 月 1 日付けで麻酔科学・ペインクリニック講座の教授を拝命いたしました。肺や食道といった胸の中にある臓器の手術（開胸手術）では、外科医が手術を行やすいように片方の肺だけを使って人工呼吸（片肺換気）を行ったり、患者さんが手術中に酸素不足の状態（低酸素血症）に陥らないように予防や治療を行ったり、手術後の痛みを抑えるために背中からチューブを入れて薬物を投与する（硬膜外麻酔）などの工夫が必要となります。私たちはこういった一つ一つの手技に熟練していることはもちろんのこと、呼吸のしくみ（呼吸生理）や人工呼吸に関する研究も多数行っており、十分な経験を積んでいると自負しております。開胸手術を受ける際には、どうぞ安心して私たちにおまかせください。どうぞよろしくお願いいたします。



麻酔科・ペインクリニック
石川 晴士

新任教授紹介

産科・婦人科

2016 年 5 月 1 日付けで産婦人科学講座の教授を拝命いたしました。産婦人科は女性の一生をサポートする診療科であり、妊娠・分娩を取り扱う産科と、子宮・卵巣に関連するあらゆる疾患を治療する婦人科から構成されています。

若年期の月経不順や生理痛、成熟期の妊娠・出産や不妊症、子宮筋腫や子宮内膜症などの腫瘍性疾患をはじめ、中高年の悪性腫瘍や更年期障害、骨盤臓器脱に至るまで、あらゆる年代の疾患やイベントを対象とし、女性の健康を総合的に管理しています。

婦人科分野では特に低侵襲な腹腔鏡手術を得意としており、国内でトップクラスの症例数を誇ります。大きさの制限はあるものの、ほとんど全ての良性疾患と子宮がん（初期）を対象とし、安全で質の高い治療を提供しております。また他にもロボット手術や子宮鏡手術、ホルモン療法等も行ってまいりますので、ご興味のある方はいつでもご相談ください。

どうぞよろしくお願いいたします。



産科・婦人科
北出 真理

「C型肝炎は治せる病気」の時代へ

消化器内科 今 一義

C型慢性肝炎を放置すると多くの人が肝硬変や肝がんになってしまいますが、インターフェロン療法は副作用が多く、治療を受けたくても受けられない方が大勢いらっしゃいました。ところが、昨年9月からインターフェロンを用いない飲み薬による治療“インターフェロンフリー療法”ができるようになり、医療事情は大きく変わりました。

インターフェロンフリー療法はウイルス遺伝子型の種類によって使えるお薬が異なりますが、12～24週間の治療期間で約85%～100%の患者さんがC型肝炎ウイルスを排除することができます。インターフェロンで見られたような発熱やうつ症状などの副作用はほとんどみられず、入院の必要もありません。ご高齢の方や肝硬変の方など、これまでインターフェロン療法を受けることが出来なかった方も、インターフェロンフリー療法ならば受けられる場合があります。今や、C型肝炎は「治せる病気」の時代になったと言えるでしょう。

まずは消化器内科の外來を受診の上で、治療についてご相談ください。



教授
渡辺 純夫



准教授
今 一義

分子標的治療

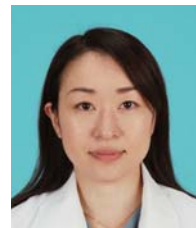
ハーセプチン・パージェタ・カドサイラについて

乳腺科 平 郁

分子標的治療薬は、治療の標的タンパク質が決まっており、正常細胞への攻撃が少ないため、治療効果が期待される一方で副作用が少ないという特徴があります。乳がんではおよそ15～20%にHER2たんぱくというたんぱく質を多く持っているがん細胞があるとわかっています。HER2たんぱくは、増殖に必要な栄養を取り込むための手のようなものです。HER2たんぱくが多く発現しているタイプの乳がんは増殖のスピードが速いと考えられています。このHER2に対する分子標的治療薬がハーセプチン・パージェタ・カドサイラです。この3剤はそれぞれ異なった作用でHER2による乳がん細胞の増殖をブロックします。ハーセプチンと抗がん剤、パージェタとハーセプチンと抗がん剤、のような組み合わせで治療を行います。カドサイラは、分子標的治療薬と抗がん剤を単剤として組み合わせた治療です。



教授
齊藤 光江



助手
平 郁

抗HER2薬 ハーセプチン・パージェタ・カドサイラの効き方



大型・巨大脳動脈瘤に対する フローダイバータースtent治療

脳神経外科 山本 宗孝

脳動脈瘤は、脳血管の壁の脆弱な部分が瘤状に膨らんだ病気です。破裂するとくも膜下出血という生命に関わる病気を発症します。大きい脳動脈瘤は破裂の危険が高くなります。

破裂を予防するためには、瘤の中に血液が流入しないようにする手術が必要です。頭を開いて小さなクリップで瘤を潰すクリッピングや、カテーテルで瘤内に柔らかいプラチナの糸(コイル)を詰めるコイルリングが一般的な治療方法です。しかし大きな脳動

脈瘤に対してはこれらの方法は行うことができません。これまでは脳動脈瘤が発生している血管そのものを遮断し、腕や足の血管を移植してバイパスを作成する、侵襲度の高い治療方法しかありませんでした。

大きな脳動脈瘤に対する新しい治療方法が、カテーテルで行うフローダイバータースtentによる治療です。非常に網目の細かい金属の筒を脳動脈瘤の入り口を覆うように血管の中に展開して、瘤内への血液の流入を減らすことで、瘤内を血栓化させて治す方法です。

2015年10月から、正式に国内でも治療を行えるようになりましたが、高度のカテーテル治療技術を必要とするため、経験の豊富な4施設でのみ治療が開始されました。当院は東日本でこの治療が行える唯一の施設です。

フローダイバータースtentによる治療を含めたカテーテル治療に関しては、脳神経外科脳血管内治療専門外来(大石英則:水曜日AM・土曜日AM、山本宗孝:水曜日PM)でご相談ください。



教授
大石 英則



准教授
山本 宗孝



図1 フローダイバータースtentの留置(イメージ)



図2 治療前

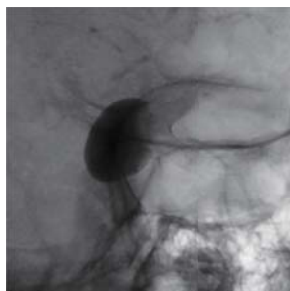


図3 フローダイバータースtentの留置により瘤内に血流が停滞



図4 治療後6ヶ月。瘤は血栓化し、血液の流入は消失

看護部ニュース

看護部長就任のご挨拶

2016年4月1日付で、順天堂医院の看護部長を拝命いたしました。

順天堂医院に寄せる患者さんやご家族の期待の大きさを肌で感じ、責任の重さに身が引き締まる思いです。

順天堂医院の看護は、初代看護師取締役の「杉本かね」に始まり、135年という歴史と伝統があります。順天堂の学是である「仁」の精神と「不断前進」の理念を礎に、照沼則子前看護部長が大切に育んできた、患者さん一人一人と向き合い、家族も含めてその思いや苦しみを理解する心・感性を持つ看護師であること、高度医療に対応できる自律した看護師に成長することを目標に取り組んでいきたいと考えています。

どうぞ、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

看護部 看護部長 幅下 貞美



臨床検査部ニュース

CAVI/ABI検査について

動脈硬化の検査には、プラークなどの動脈硬化病変を評価する画像検査（超音波検査等）と、血管機能不全を評価する血管機能検査があります。CAVI（心臓足首血管指数）、ABI（足関節上腕血圧比）は血管機能検査で、仰向けに寝た状態で両上腕・両足首の血圧と脈波を同時に計測します。検査時間は約10分で、痛みを伴わない簡単な検査です。



CAVI（心臓足首血管指数）は、心臓（大動脈起始部）から足首までの「動脈の硬さ」を表す指標で、動脈硬化では値が高くなります。血管年齢は、CAVI計測値を、同じ性別・同じ年齢の健常者のCAVI平均値と比較して算出されます。CAVI値が高いほど血管年齢も高くなります。

ABI（足関節上腕血圧比）は、足の「動脈の詰まり」を表す指標で、主に末梢閉塞性動脈疾患の診断に用いられます。ABIが0.9以下の場合、下肢の動脈になんらかの狭窄または閉塞が疑われ、値が低いほど狭窄または閉塞が高度とされます。

放射線部ニュース

今回は乳がんの発見に有用とされるマンモグラフィ検査について説明させていただきます。

マンモグラフィとは乳房専用のX線撮影装置を使用し、乳房全体が写るよう多方向から撮影する検査です。乳房の小さな変化を見つけるために、乳房を押し広げるように圧迫をして撮影します。

圧迫により乳房厚を薄くすることで撮影時の線量を減らせるため、検査を受ける方のX線被ばく量を少なくすることが出来ます。また、圧迫をすることで乳腺や脂肪、血管などの重なりをできるだけなくし、乳房を鮮明に描出することができ、これにより腫瘍や石灰化を写し出すことが出来ます。

中でも、腫瘍を形成せず触診ではわからない小さな石灰化（乳がんが死滅し、そこにカルシウムが沈着した状態）を写し出すことを得意としています。小さな石灰化はがんの初期状態としてみられる場合もあり、乳がんの発見に有用とされています。

撮影されたマンモグラフィは専門の放射線科医によって画像診断されています。



ピンクリボン

※ピンクリボンは乳がんの「早期発見・早期診断・早期治療」の大切さを世界の女性たちに伝える運動のシンボルマークです。

薬剤部ニュース

外来化学療法室での薬剤管理指導(服薬指導)について

がんの薬物療法(抗がん剤治療)では、注射などのお薬や錠剤やカプセルのような飲み薬を使用します。お薬を使う日と、お休みする日を組み合わせて治療を行いますが、近年では注射などを行う日に通院し、それ以外は通常通りの生活をされる方も増えてきました。

薬剤部ではこの春、通院して抗がん剤治療を受ける場所である外来化学療法室での薬剤管理指導(服薬指導)を始めました。抗がん剤治療の専門知識に特化した薬剤師が患者さんのもとへ伺い、治療スケジュールの確認、注射や飲み薬の説明、副作用の症状や予防・対処方法について、パンフレット等を用いて詳しくお話しさせていただきます。外来化学療法室ではお話しにくい場合、がん治療センターのコメディカル相談(予約制)での対応も可能です。抗がん剤治療を受けるにあたり、不安なこと、知りたいことがあれば、お気軽に薬剤師へご相談ください。



栄養部ニュース

『コンビニ食を上手に利用するために』

皆さんの生活の中にすっかり溶け込んでいるコンビニエンスストア。その便利さと手軽さからコンビニ食を利用されている方が多くいらっしゃいます。コンビニ食で栄養バランスがとれるよう、選び方と組み合わせに注意して購入することが大切です。皆さんの健康意識は高く、エネルギーを参考に購入する人は多いでしょう。これだけでなく、次のように組み合わせることで栄養バランスが整います。身近で便利なコンビニエンスストアを上手に利用しながら栄養管理を行いましょ。

管理栄養士 三浦 佳子

おにぎり・サラダ・卵焼き



サンドイッチ・ミネストローネ・ヨーグルト



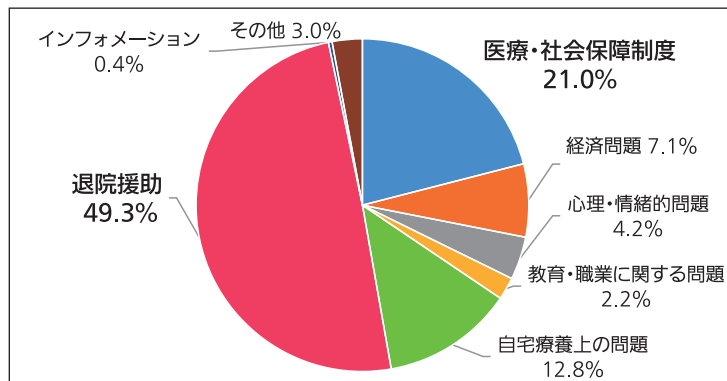
幕の内弁当・胡瓜の酢の物



医療福祉相談室ニュース

☆2015年度に当室で受けた相談内容の割合は、次のとおりです。

《 2015年度 相談内容別件数1,048件の内訳 》



昨年度、当室で新しく受けた相談件数は1,048件（取扱延べ回数37,623回）でした。一番多い相談内容は、**退院に関する援助**で約半数を占めました。当院での入院治療を終えられる患者さんの、リハビリテーション専門病院や療養型病院などへの転院を検討するためのご相談です。

次いで多かったのは、**医療・社会保障制度**でした。昨年は7月に「難病医療費助成制度」の対象病名が110から306疾病に拡大されましたが、こうした公的な医療費助成制度や「介護保険」「障害者手帳」などの社会福祉制度の利用についてのご相談です。

当院にはいくつかの相談部門がありますが、「医療福祉相談室」では、このような療養生活に伴って生じる様々な心配事について、**ソーシャルワーカー**が、患者さんやご家族と一緒に考えながら解決へのお手伝いをしています。

ご相談を希望される場合は、事前にご予約をお願いいたします。

医療福祉相談室 直通 TEL : 03-5802-1207

蚊媒介感染症（ジカウイルス感染症、デング熱）とは？

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって感染する病気です。代表的な病気は、マラリア、デング熱、チクングニア熱、最近ではジカウイルス感染症などがあります。これらは主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。日本では、2014年の夏に70年ぶりにデング熱の国内流行が報告され、代々木公園付近の蚊の駆除が行われました。ジカウイルス感染症は国外で感染し帰国後に診断された事例（3例）はありますが、国内で感染した事例は報告されておられません（2016年5月15日現在）。

ヒトが病原体を保有する蚊に刺されると、2～7日後くらいに発熱、発疹、結膜充血、関節痛、頭痛などの症状がみられます。ジカウイルス感染症は、デング熱に比べて、高熱になりにくく、結膜充血の頻度が高いという特徴があります。また、妊婦および妊娠の可能性のある方が感染すると、胎児に先天性異常（小頭症など）が見られることが報告されています。

ジカウイルス感染症やデング熱は、治療薬やワクチンがありません。やむを得ず流行地域に出かける際は、長袖、長ズボンの着用や虫よけ剤などを使用し、蚊に刺されないための予防が必要です。しかしながら、すべての蚊が病原体を保有している訳ではないので、蚊に刺されたことだけで過分に心配する必要はありません。病原体を保有している蚊に刺されない限りヒトに感染しません。心配な場合は、帰国された際に、空港等の検疫所へ、また、帰国後に心配なことがある場合は、最寄りの保健所等にご相談ください。なお、当院にかかりつけの患者さんで、流行地域渡航後に発熱などの症状がある場合には、まずは主治医にご相談ください。

より詳しい情報は、厚生労働省、厚生労働省検疫所 (FORTH)、国立感染症研究所 (NIID)、国立国際医療研究センター内国際感染症対策室の各ホームページをご覧ください。



感染対策室 室長 堀 賢
感染管理認定看護師 小松崎 直美

順天堂医院の今昔

順天堂の建物今昔

本郷キャンパスでは、175周年記念事業として、キャンパス・ホスピタルの大々的な改築が進み、本年6月に、B棟が竣工した。地上21階地下3階の堂々とした建物である。本郷キャンパスの新しい顔が登場した。

50年ほど前、中央線でお茶の水に近づくと、進行方向、左側に、3階建ての「順天堂医院」の建物が現れた。表に大きく「順天堂医院」と書かれているのを見て、大病院であるのに、なぜ医院なのかと不思議に思ったものである。

大正12年の関東大震災で、順天堂はほとんど焼失したが、震災後、再建するにあたって、時の院長佐藤達次郎は、人命を守る建物を目指して、3階建ての「順天堂医院」を建てた。この堅固な建物が、昭和初期から平成まで長らく順天堂の顔であった。現在は、平成5年に完成した順天堂医院1号館が建っている。

本年6月に完成したB棟は、高度な病院機能と、最先端の省エネルギーシステムを兼ね備えている。そして、約178年の歴史をもつ順天堂は、伝統と最先端の姿を未来に伝えていくであろう。



昭和21年頃の順天堂医院



御茶の水橋から見たB棟

順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療サービス支援センター
地域医療連携室(2016年7月発行)

ホームページ
<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

